

平成 21 年度日本認知症ケア学会・読売認知症ケア賞「功労賞」



長谷川 和 夫 (はせがわ かずお)

社会福祉法人浴風会認知症介護研究・研修東京センター名誉センター長

1929 年 2 月 5 日生まれ

【授賞理由】

認知症が病気であるという概念を社会に浸透させたことは認知症の人のみでなくその家族をも救うことであった。また、この難問を解決するとともに認知症の人を理解し尊敬し、そしてなによりもその人らしさを維持することの大切さを社会に知らしめた功績に対し、本賞を授与するものである。

【略歴】

1969 年 7 月～1972 年 8 月	東京慈恵会医科大学助教授
1972 年 9 月～1973 年 3 月	東京都老人総合研究所心理学部長
1973 年 4 月～1993 年 3 月	聖マリアンナ医科大学教授
1993 年 4 月～2005 年 3 月	聖マリアンナ医科大学学長～理事長
2005 年 4 月～2009 年 5 月	社会福祉法人浴風認知症介護研究・研修東京センターセンター長

【業績および功績】

わが国で最も多く利用されている認知症の評価スケールである「長谷川式簡易知能評価スケール」の開発者であり、その業績は国内のみならず国際的にも評価されている。1989 年には第 4 回国際老年精神医学会会長を勤めるとともに日本老年社会科学会、日本老年精神医学会等の理事長を歴任したわが国の認知症研究・臨床の第一人者である。

【褒賞】

- ・神奈川県文化賞（医学）1997 年
- ・文部科学省平成 16 年度地方教育行政功労者表彰 2004 年
- ・叙勲 瑞宝中綬章 2005 年

【著書】

長谷川和夫 監訳 訳：東京都老人総合研究所看護学研究室

老人心理と看護 I.M.Barnside 論著：Psychosocial nursing care of the aged. Mc Graw
- Hill Book Company(1973 年) メヂカルフレンド社 1977 年

長谷川和夫 編者：痴呆性老人の看護とデイケア 医学書院 1986 年

長谷川和夫, 長嶋紀一：老人の心理 全国社会福祉協議会 1990 年

長谷川和夫, 五島シズ：痴呆のお年寄りの介護 東洋出版 1993 年

長谷川和夫：認知症を正しく理解するために マイライフ社 2005年
長谷川和夫：認知症診療のこれまでとこれから 永井書店 2006年
長谷川和夫：認知症ケアの理念 日本認知症ケア学会 監，長田久雄 編 認知症ケアの
基礎知識 P1-10, ワールドプランニング 2008年
長谷川和夫 編著：認知症のケア 永井書店 2008年
長谷川和夫 編著：認知症の理解 介護の視点からみる支援の概要 建帛社 2008年
長谷川和夫 監修：認知症 家族はどうしたらよいか 池田書店 2009年

【原著及び総説論文】

新福尚武，長谷川和夫，武内貞子：全国施設老人の精神医学的実態調査．社会精神医学研
究所紀要，1：17-32（1970）．
長谷川和夫：施設老人と精神障害；東京都内施設老人の精神医学的実態調査．1：5-16（1970）．
長谷川和夫，井上勝也，守谷國光：老人の痴呆審査スケールの一検討．精神医学，16：956-969
（1974）
加藤伸司，下垣 光，小野寺敦志：改訂長谷川式簡易知能評価スケール(HDS-R)の作成．老
年精神医誌，2：1339-1347（1991）．
長谷川和夫：痴呆性老人のデイケア．日本デイケア研究誌，2：27-34（1998）．
Kazuo Hasegawa Psychogeriatrics in the New Century - Issues and Challenge
-PSYCHOGERIATRICS, 1:155-157（2001）．
長谷川和夫：痴呆ケアの新しい道．日本痴呆ケア学会誌，1:27-44（2002）．
Ferri CP, Prince M, Brodaty H, Hasegawa K, et al : Global prevalence of dementia ;
a Delphiconsensus study. Lancet, 366:2112-2（2005）．
長谷川和夫：老年精神医学の過去・現在，そして未来；老年精神医学雑誌，18:3-13（2007）．

【口頭発表】

2004年10月15日 第20回国際アルツハイマー病会議 基調講演 京都
「痴呆ケアの基本的課題」 “Basic issues in dementia care”
2005年9月19日 NPO 在宅ケアを支える診療所・市民全国ネットワーク第11回全国大
会 特別市民公開講座 広島
「認知症の正しい理解のために」
2006年4月27日第9回アジア太平洋国際アルツハイマー病会議 基調講演 ソウル
「これからの認知症ケア」 “Dementia care in the future”
2006年6月14日 第9回九州ブロック介護老人保健施設大会 特別講演 大分
「これまでの認知症とこれからの認知症」
2006年10月1日 第7回日本認知症ケア学会 リレー講演 札幌
「認知症ケアと環境～認知症ケアにロマンとユーモアを」
2007年10月16日 第13回国際老年精神医学会 大阪
「これからの老年精神医学に期待されること」

“What is main issues expected to psycho geriatrics in the future?”

2008年10月12日 第41回薬剤師会学術大会 特別講演 宮崎

「みんなで認知症の人を支えよう ～私たちに今できること～」

2009年6月14日 第44回京都病院学会 特別講演 京都

「認知症の今とこれから」

2009年6月19日 日本ケアマネジメント学会第8回研究大会 ユニバーサル市民公開講座
横浜

「認知症になっても大丈夫なまちづくり」